



井川 三千男  
(昭33 経済学部卒)

おいしい約束



昭和10年の創業以来、東広島の良質の地下水をベースに多種多様の清涼飲料水の企画



宝積 良忠  
(昭51 経営学部卒)

宝積飲料株式会社  
代表取締役社長

生かされて生きている命

おいしい約束(株)?なんだこれ。実はこれは外食産業(焼肉バイキング)を営んでいます私の会社名です。もともと(株)井筒屋と言っていました。井筒屋は私の家の屋号でしたが、ある年に資金調達が、また人材確保も楽になり又社員の士気も上がるだろうということで株式を公開しようと取締役会で決定しました。公認会計士を入れて準備するうちに北九州市の井筒屋百貨店と会社名が一緒だということで社名を変えざるを得なかったのであります。色々検討し、時間も掛かりましたが、非常

に小さい会社で人目につき易いということで、「おいしい約束」と命名しました。随分変わった名前だとは思いましたが、とにかく100回おいしい約束おいしい約束と言ってみますと案外いい線いってるなと感じました。(おそろく自分だけでしょう)

結局残念ではあります。以下の理由により株式公開を断念いたしました。それは第一次狂牛病によって叩きのめされたからです。数年して売り上げもやっと以前と同じようになつたかなと思われたところ第二次狂牛病発生。こ

開発・製造・販売を手がけています。戦後最盛期には県内で130軒あった同業者が、大手寡占の今では8軒しかないという事実がこの飲料水業界の変遷の激しさを物語っています。

7年前、創業70周年記念に社員とその家族に会社のルーツを知ってもらおうと社史を編集した際、過去の変遷を調査整理する中で感じたことがあります。その一つは、企業は環境適応業だと言いますが、当社の場合もまさにその時々々の環境や数々の苦境の中で、絶えず能動的に自らの形を変え進化

させ、その状況を乗り越えてきたということ。逆に言うと、過去の成功体験以上に、数々の苦境や失敗経験が会社を育て、今現在の姿を形づくってきたのだと感じました。今ひとつは、いつの時代も、どんな苦境の時にあっても、必死にそれを乗り越えようと努力している中で、なぜか必ず何らかの形で当社を苦境から救ってくれる存在があったということ。それを考えるとあらためて「わが社は生かされている」と感じるのです。益々厳しい方向に加速する経営環境に対応するには、今後も自らが生きていく道は自ら切り開くという「自助」の

精神と、同時にそうではあっても、常に周りから支援いただいたからこそ今の自分がある、「生かされているのだ」という「感謝」の思いは決して忘れてはならないと思えます。

今後も引き続き社会的に必要とされる存在を目指すことにより「生かされる」という善循環の関係を大切にしながら、経営構造の変革と社内体制の整備に努め、「独自技術とオンリーワン商品を合わせ持った研究開発提案型の企業社員とその家族が真に誇りを持つる企業」を目指して社員とともに、心を合わせて業務に励んでいきたいと思えます。

精神と、同時にそうではあっても、常に周りから支援いただいたからこそ今の自分がある、「生かされているのだ」という「感謝」の思いは決して忘れてはならないと思えます。



株式会社広島バスセンター  
〒730-0011 広島市中区基町6番27号 Tel.082-225-3332(代)  
伊藤 利彦 (昭和37年 法学部卒)  
松浦 洋二 (昭和39年 法学部卒)



おいしい約束株式会社

取締役 相談役 井川 三千男  
(昭和33年 経済学部卒業)

本社/〒732-0825  
広島市南区的場町1-1-21  
クリスタルタワー9F  
TEL 082-263-5657 FAX 082-263-5770

自宅/〒732-0821  
広島市南区大須賀町16-7 503号  
TEL 082-262-4658  
E-mail igawa@piano.ocn.ne.jp



瀬戸内の風 香る  
さわやかに...  
おだやかに...

広島県は、国産レモンの日本一の産地です。瀬戸内の日差しをたっぷり浴びたレモンの果汁と、因島が発祥と言われる「はっさく」の果汁を使用し、水の郷百選にも選ばれた東広島の水で仕上げた地サイダーです。

宝積飲料株式会社

代表取締役社長 宝積 良忠  
(昭和51年 経営学部卒業)

〒739-0043 東広島市西条西本町14-54  
TEL(082)423-2271 FAX(082)422-6714  
http://www.hoshaku.co.jp  
E-mail: y.hoshaku@hoshaku.co.jp